

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表:平成 31年 2月 12日

事業所名 たけのこ園

保護者等数(児童数) 18 回収数 9 割合 50%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	100%					
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	78%	22%			専門知識のある先生が常駐で1名でもいらっしやると良いと思います	基準以上の人員配置を行っている
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	100%					
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	89%	11%			トイレ附近の匂いが気になる時があります	季節的に下水の臭気が上がることもある。順次、解決します
適切な 支援の 提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	100%					
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	78%			22%		個別支援計画は真に子どもにあった支援内容を選択し支援していくことを心掛けていきます
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	89%			11%		
	⑧	活動プログラムが固定されないよう工夫されているか	67%	11%		22%		適宜、必要なプログラムを実施していきます
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	78%			22%		年間の交流計画を作り実施しています
保護者 への 説明等	⑩	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	89%	11%				
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	100%					
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	100%					
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができてきているか	89%	11%			伝えても上手く伝わっていなかったり先生方で情報が共有されていないと感じる時が時々あります	職員間の情報共有を大切にしていきます
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	100%					
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	100%					
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	78%			22%		
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	67%	11%		22%	伝えても上手く伝わっていなかったり先生方で情報が共有されていないと感じる時が時々あります	職員間の情報共有を大切にしていきます
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	67%	11%		22%		今後、保護者への情報発信のあり方も検討していきます
非常時 等の 対応	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	78%			22%		
	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	66%	11%		22%		今後、もう少し幅広い訓練を実施し保護者にも周知・説明していきます
満足 度	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	100%					
	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	100%				広々した場所で伸び伸びと過ごせるのでとても楽しみにしている	
	㉓	事業所の支援に満足しているか	89%	11%			色々な専門指導が多く受けれるので嬉しい。笑顔で対応してくれているので安心している	職員としては満足することなくより良い支援を求めています

事業所職員向け 児童発達支援自己評価表

公表:平成 31年 2月 12日

事業所名 たけのこ園

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		体操教室は法人の体育館を利用している。療育スペースは広く個別の部屋は落ち着いて集中できるスペースとなっている。	
	2	職員の配置数は適切であるか	○		園児の利用状況に合わせて余裕のある配置を心掛けている。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がい者の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		建物の構造はシンプルで園児にも分かりやすいバリアフリーにできている。	保護者へのお知らせや掲示はスペースが足りず、工夫の余地が残っている
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		十分な広さを備えたホールや指導室等完備されている。	照明が一部暗い所がある。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		人事考課や福祉QC活動を実施し、職員も積極的に参画している。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		以前より塩谷広域行政組合からのアンケート調査は行われており、保護者の意向を把握し、業務改善に繋げている。	アンケートのみならず話しやすい環境を作り、保護者の意見を吸い上げ改善に努めていきたい。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			HP等に公開していくと同時に、園だよりやHP等で公開していくように努めたい。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		未実施。今後検討していく。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		法人内研修、外部研修等機会があればできる限り参加していきたい。	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		定期的にケース検討を行い、アセスメント、モニタリングなどを行い支援計画を作成している。	
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		職員各自が園児に対し個々のアセスメントツールを使用している。	職員全員の標準化は出来ていないためにツールの統一化を図りたい。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		保護者との話し合いの場を設け、適切な選択ができるよう心がけている。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		児童発達支援計画を基に支援を行っている。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		療育、行事等、園児に合わせた支援を専門指導のアドバイスを受けて職員同士、相談しながら行っている。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		個々の状態に合わせた活動プログラムを工夫している。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○		療育でも専門指導でも計画の段階から、個別と集団を分けて実施している。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		業務開始前にミーティングを行い、その日の流れや職員の業務等を確認している。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		夕方のミーティングを行い引き継ぎを行う中で、その日の気づきなどを報告している。	

	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		記録は「福祉の森」に入力し記録を取っている。	記録に係る時間を十分確保していきたい
	20	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		6か月に1回モニタリングの実施を行っている。	
関連機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		ケースについては必ず担当者が出席している。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		必要な園児には機関との連携を行っている。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	—	—		
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	—	—		
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		必要な園児には情報共有を図っている。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		必要な園児には情報共有を図っている。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		研修等に参加している。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○		交流保育を行っている。	日程調整が大変であるが継続していきたい。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○			
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			母子通園施設であるために共通理解は持ちやすい。時に保護者からの情報が職員に共有されてないこともあり、注意していきたい。
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○			保護者向け研修会を定期的に行っている。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に詳しく、丁寧な説明を心掛けている。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		保護者と直接話をする時間を設け、同意を頂いている。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			専門指導時には積極的な相談がなされている。保育者も保護者からの相談に対応できるよう研鑽をしていきたい。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		保護者懇談会や保護者研修会を行う中で連携を支援している。	父母の会はないが、さまざまな行事を通じて保護者同士の連携をさらに支援していきたい。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		相談しやすい雰囲気づくりに努め、苦情等の対応は契約時に説明をしている。相談や申し入れに対しては職員同士で情報共有し対応している。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		毎月の園だよりで行事の報告や予定をお知らせしている。	

非常時の対応	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		注意している。	時々、注意喚起しながら対応していきたい
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		配慮している。	保護者の受け取り方として、不十分と思われる方もあり、今後、取り組んでいきたい。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		おたのしみ会には隣接した片岡デイサービスの方々をご招待している。	
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		危機管理マニュアルで怪我、事故、火災、地震、不審者への対応、感染症、落雷、突風、竜巻等のマニュアルを策定している	策定はしているが、マニュアル自体を保護者に周知していないので今後検討していきたい
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		毎月、定期的に保護者、園児、職員等含めた訓練を実施。年2回は総合訓練と称し消防署の立会いも行っている。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		服薬、てんかん発作については保護者に確認している。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づき対応がされているか	○		保護者からの情報に基づいた対応をしている。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○	事故報告書はあるがヒヤリハットはない。	今後検討していきたい。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		内部研修、外部研修を行っている。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	—	—		